

2026 年 7 月

HEMS 要件適合確認資料

NextDrive 株式会社

(1) HEMS が接続する機器

対象機器「Cube J」ならびに「EDGE」は ECOHNET Lite AIF 認証を取得済みであり、各種エネルギー設備との接続ならびにデータ取得・制御※1 が可能です。具体的に AIF 認証を取得している内容は下記の通りです。

接続対象機器	AIF 認証取得番号
低圧スマートメータ	QZ-000149
住宅用太陽光発電	MZ-000333
蓄電池	MZ-000336
家庭用エアコン	MZ-000332
電気自動車充放電器（充電器）	MZ-000337
電気自動車充放電器（充放電器）	MZ-000338
HP 給湯器	MZ-000331
燃料電池	MZ-000339
ハイブリッド給湯器	MZ-000340
瞬間式給湯器	MZ-000334
照明機器	MZ-000335
分散型電源電力量メータ	MZ-000330

また、AIF 認証対象設備ではありませんが、「分電盤」、「床暖房」設備にも接続がし、データ取得・制御※1 が可能です。

※1 制御の可否ならびに制御内容は接続対象機器によって異なります。

(2) HEMS の仕様ならびに諸元

対象機器「Cube J」ならびに「EDGE」の機器仕様は、下記 URL にて掲載しております。

「Cube J」仕様・諸元：

<https://ioesupport.nextdrive.io/connectivity/cube-j-hems-1>

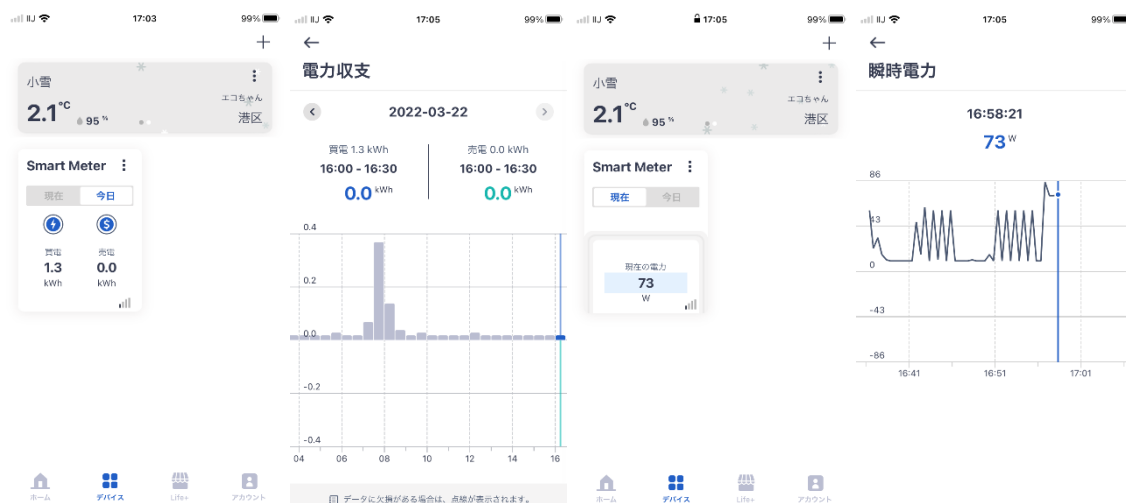
「EDGE」仕様・諸元：

<https://ioesupport.nextdrive.io/connectivity/edge>

(3) HEMS の計測・可視化内容

対象機器「Cube J」ならびに「EDGE」は、エンドユーザーが手軽に電力利用状況等を確認できるよう、スマートフォンで利用可能な HEMS アプリ「Ecogenie+」や「エネコネクト」等※2 と一体的に提供されています。

図：モバイルアプリ画面



※2 対象機器「Cube J」ならびに「EDGE」は NextDrive が提供する、複数の HEMS アプリにて利用する事が可能です。

また、可視化以外にもエンドユーザーが様々な切り口で電力利用状況を確認できるよう、以下のようなサービスも HEMS アプリ内で提供しています。

①わたしの電気代

需要家が採用する契約料金プランを「わたしの電気代」にて事前に設定し、アプリ Ecogenie+ の電力可視化機能（電力料金など）を使うことにより、予算管理のサポートと目標達成状況のモニタリングが可能になります。

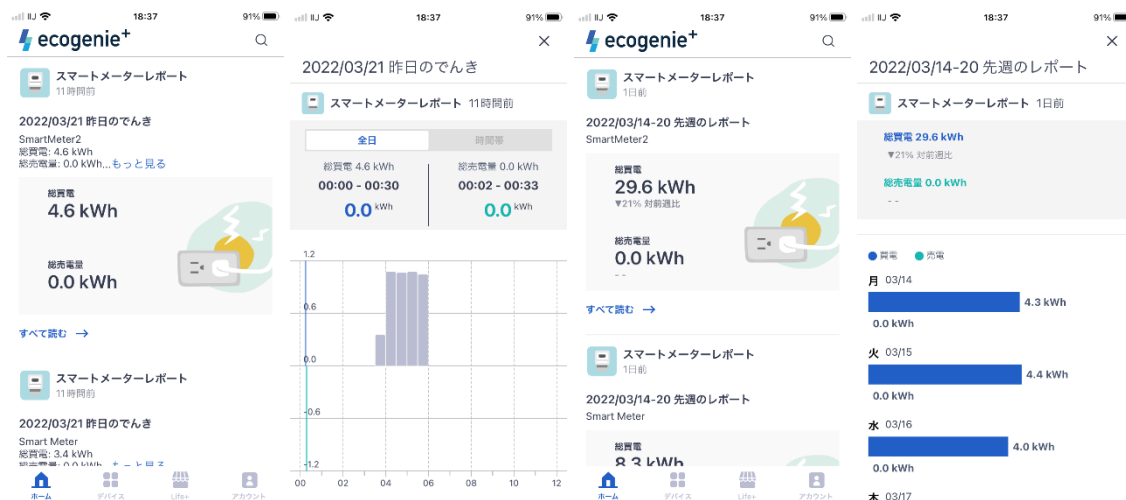
②スマートメーターレポート

需要家が「スマートメーターレポート」を設定し、アプリ Ecogenie+の電力可視化機能（電力使用量など）を使うことにより、日・週・月単位の電力データを比較することが可能になります。

図：「スマートメーターレポート」の設定画面



図：「スマートメーターレポート」のレポート





③電力使用量通知

需要家が「スマートメーター」の「電力使用量通知」を設定し、設定値以上の場合が発生する時、リアルタイムでお知らせがアプリへ届くため、電力使用量を一定範囲内に抑えるサポートが可能になります。

図：電力使用量通知



（４）運用改善による省エネ効果

モバイルアプリ「Ecogenie+」、「エネコネクト」等を通じて、電力の使用状況を確認できるだけでなく、蓄電池、電気温水器(HP 給湯機)、(家庭用)エアコン、EV（電気自動車）充放電器、EV（電気自動車）充電器等の設備の状況をリアルタイムで確認することができる他、遠隔での操作も可能であり、使用者による運用改善（ピークカット、ピークシフト制御）が実行可能です。

したがって、「平時に省エネ効果（運用改善によるものを含みます。）が得られるとともに、熱源・ポンプ・照明等の計量区分ごとにエネルギーの計量・計測を行い、データを収集・分析・評価できる機器であること。」との要件を満たしています。

なお、「熱源・ポンプ・照明等の計量区分ごとにエネルギーの計量・計測」を実施するためには、分岐回路計測が可能な機器との接続・設定が必要となります。

図：エネルギー設備の制御画面①



EV（電気自動車）充電器

電気温水器(HP 給湯機)



図：エネルギー設備の制御画面②

(家庭用) エアコン



(5) 需給調整の制御への活用

対象機器「Cube J」ならびに「EDGE」は、経済産業省 資源エネルギー庁の所管する「DR リソース導入のための家庭用蓄電システム等導入支援事業」において、デマンド・リスポンス実施に必要となる IoT 機器として登録されており、需給調整制御に活用されている実績を有する機器です。

したがって、「システム内の発電量その他データに基づく需給調整の制御に不可欠な機器であること。」との要件を満たしています。

また、電力需給が厳しい状況において、ユーザーに節電要請を行なう際にも、HEMS アプリへの通知を活用して需要家へ通知することが可能であり、需給ひっ迫時の需給調整機能としても活用することが可能です。

図：節電要請の通知例

